

●インタビュー

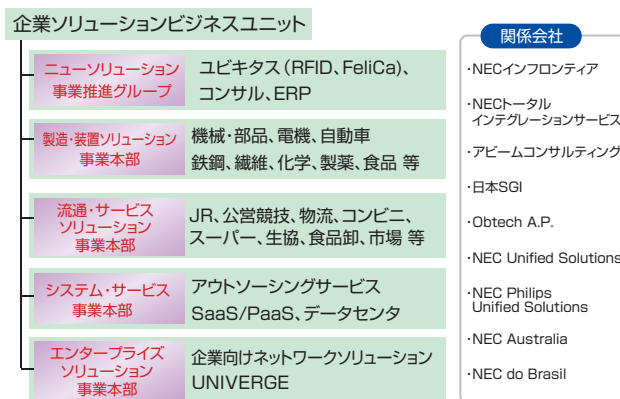
先進のユビキタスビジネス環境の実現をコンセプトに、 新たなビジネススタイルの構築を支援



日本電気(株)
企業ソリューション企画本部長
松村 光隆氏

企業が持続的成長を遂げるためにはたゆまぬ業務改革と新たな付加価値創造が不可欠だ。ユビキタス時代を見据えたNECの企業向け最先端ソリューションの展開について、企業ソリューション企画本部の松村光隆本部長にうかがった。

わたっています。BU内組織は、図に示すように、4つの事業本部と1つの事業推進グループからなっています。



NEC企業ソリューションビジネスユニットの組織概要

——世界的な金融危機の深刻化に伴い景気の先行きが懸念されていますが、ビジネスの状況はいかがですか。

松村 今後厳しくなることも予想されますが、今のところ売上の状況は横這いの状況です。数字的には横這いでも、ビジネスの中味は激変しています。単なるハードウェアの提供やソフトウェアの開発から、お客様の課題解決や新たな付加価値を創造するトータルソリューションの提供へと大きく変わってきています。NECが得意とする製品・システムには固執せずに、自社製品か他社製品かを問わない、優れた製品を組み合わせたITとネットワークのトータルソリューションの提供に変わってきました。また今後は、SaaS (Software as a Service) やPaaS

(Platform as a Service) などを含めたネットワークを経由したサービス提供への流れが、加速していくでしょう。実際、私どものBUのシステム・サービス事業の成長率は、非常に高くなっています。

先進のユビキタスビジネス環境の実現を目指す

——最近注力されている点としてどのようなことがありますか。

松村 NECのコアとなるビジネス領域として、ITとネットワークがありますが、私どものBUは、IT・ネットワークを統合した領域でのソリューション展開に注力しています。この一環として、2004年より、

顧客企業の業務改革と新たな付加価値創造を支援

——はじめに、NECの企業ソリューションビジネスユニット (BU) の主要ミッションからお聞かせください。

松村 企業ソリューションBUは、民間企業及び団体に対する、システムインテグレーション事業、システム・サービス事業、ネットワークソリューション事業、及びプロダクト事業の展開によって、お客様の業務改革と新たな付加価値創造を支援するというのが主要ミッションです。お客様の業種は製造業から流通・サービス業まで幅広く、またお客様の規模もSOHOから大企業まで多岐に

ブロードバンドを活用した新しいオフィスのあり方を自ら実践・提供してきました。ブロードバンドの普及・拡大に伴い、オフィスにとどまらず現場の隅々まで高速・大容量なネットワークが提供されるようになった今では、長年培ったIT技術とネットワーク技術の強みを活かしたユビキタスビジネス環境の具現化を目指しています。加えてソリューションのサービス化へのシフトを指向しています。システムインテグレーションは、SOA（サービス指向アーキテクチャ）への対応やアウトソーシングといったLCM（ライフサイクルマネジメント）型のサービスへのシフトを加速しています。また、SaaS/PaaSといった新たなネットワークサービスも立ち上がりつつあります。このようにネットワークの進化、サービス化の流れ、NGNといった新技術対応を先取り

する形で、ユビキタスビジネス環境の実現に注力しています。なかでも、各論の頁でご紹介するようにUNIVERGEユビキタスワークプレーズの核となる「ユニファイド・コミュニケーション（UC）」や、自らの実践に基づく「テレワーク」、さらには超小型モバイルサーバを活用した「現場の可視化ソリューション」、汎用コミュニケーションロボット「PaPeRo」の活用方法の共創に向けた取組みを加速しています。

——ソリューション展開にあたって貴社ならではの強みは…。

松村 一番の強みは、お客様からの信頼であり、諸先輩方が築きあげてきた“安心・安全・信頼度”だと思っています。この強みを上手く活かしながら、お客様に満足していただけるソリューションの開拓・提供に注力していきたいと考えています。

サービス化への迅速な変革が、発展の大きな鍵に

——今後のビジネスの方向性を含めた抱負をお聞かせください。

松村 前述したように企業ソリューションビジネスは、システムインテグレーション中心からサービスへ急速にシフトする兆しを見せています。事業のサービス化を加速し、先進のユビキタスビジネス環境の実現に向けたサービスをいかに提供していくかが、今後の発展の大きな鍵であると考えています。特にUCを核にしたビジネスの基盤作りと、サービス事業の基盤作りを積極的に行うことが重要で、この2、3年が勝負の年だと思います。システムインテグレーションとサービスを、最適な組み合わせでお客様に提供することで、市場成長を大きく上回る飛躍的な事業拡大を実現したいと考えています。

——本日は有難うございました。

お客様企業のイノベーションを支援する NECブロードバンドソリューションセンター

ワークスタイル改革による企業の経営革新をNEC自ら実践する場として2004年1月品川に、2005年1月関西に開設された「NECブロードバンドソリューションセンター」。

現在では、企業を取り巻く課題に対応するソリューションを、「ビジネススタイル改革」「ワークスタイル改革」「マネジメントスタイル改革」の3つテーマで展示し、お客様とともに考えることにより、お客様企業のイノベーションを支援している。



品川・関西の会議や教育に活用している
UNIVERGE UC会議実験システム

年4回のリニューアルで最新のソリューションを展示し、実践の効果をお客様に伝え、またお客様の声を製品やサービスに反映している。

「この姿勢がお客様の支持を得て、2008年9月末で、



左：NECブロードバンドソリューションセンター
センター長 下垣 直子
右：NECブロードバンドソリューションセンター関西
センター長 圓藤 幸江

延べ5万名以上（約9,000社）のお客様にご来場いただきました。」（下垣直子センター長）

同センターでは、ユニファイド・コミュニケーション（UC）やテレワークなどのワークスタイル改革により、年間5.7億円のコスト削減と業務効率40%UP、43%以上のCO₂削減を実現している。（2007年度結果、2004年度比）